

歩く県道と「YAMAP」

福島県では、車の通行が不能となっている県道会津若松三島線、県道小林海津宮下停車場線（会津銀山街道の銀山峠、美女峠、吉尾峠）を歩く県道として、整備・利活用し、地域の活性化につなげるための取り組みを地域の皆様や市町村と協働で行っています。

各峠道の最新情報発信のため、スマートフォンアプリ「YAMAP」（国内利用者230万人）の活用に取り組んでいます。整備や現地調査の際に各峠の魅力や注意点を地図に投稿し、山行計画や利用時の一助になればと考えています。詳しくは、「銀山峠」と「志津倉山」（美女峠・吉尾峠）で地図検索するか左のQRコードよりチェックしてみてください。

YAMAP

銀山峠



志津倉山



整備前

1



整備後

2



3



4



5

- 1: 施工前の様子。昨年度までに丸太で路肩土留めを組み上げていました。
- 2: 施工後の様子。延長 43m の木道は壮観！
- 3: 周辺の路肩落ち箇所も合わせて整備。細やかに手が行き届いているトレイルは安心して利用できる。
- 4: 仕上げの板を貼っている様子。釘を上手く打つコツはみんなで教え合い、女性も大活躍！
- 5: 和気あいあいと記念撮影！達成感でみんなの笑顔がこぼれる。



ワッセ
ワッセ



※「あんつあ」
会津弁で年上男性の敬称

美女峠、最深部に 木道をつくる

美女峠は約7kmと会津銀山街道の中で一番長い峠道です。今年度は最深部の3.5km地点の整備をしました。令和5年10月20・23・24日に、銀山街道を活用して地域を元気にする会をはじめ、かしゃ猫クラブなどから総勢45名の参加をいただき、昨年度までに整備した路肩土留めの仕上げとして板を貼り、木道をつくりました。

木道に使用した板は計57枚。地形の状況に合わせて板を貼っていく複雑な作業でした。活躍したのは三島町浅岐地区のあんつあ。森林事業が本職でチェーンソー裁きは手際よく繊細。板の運搬の方が忙しくなるほど、あつという間の手際でした。

改めて、様々な方々にご協力いただき、本事業が成り立っていることを実感しています。今後も連携を継続し、地域の自然や歴史、文化を楽しみながらともに学んでいきたいと思っています。



4

休むのも
山の嗜み



- 1: 施工前の様子。高低差が大きく、沢を渡る際は足元に気を取られていた。
- 2: 施工後の様子。足元を気にせず、らくらく歩けるようになった。
- 3: ぬかるみを木道で対策した箇所。
- 4: 道が狭い箇所に片栈橋をつけた箇所。



1



2

作業中、中向区長さんが「この沢は（でとよし）だ」と教えて下さり、アドバイザーの田賀先生が作った即席看板を最終日に取り付けてフィニッシュ。参加者と「落成式みたい」「目印があると安心感が増す」などと喜び合いました。

今年度は、夏と秋の2回に分けて、整備を行いました。1回目は令和5年7月24～26日に銀山街道を活用して地域を元気にする会や昭和村中向地区の皆様をはじめ、20名の参加をいただき、高低差の大きい沢への架橋やぬかるみ箇所にも木道の設置、道が狭い箇所へ片栈橋の設置をしました。作業は資材運搬からはじまり、丸太を組み上げ、仕上げの板貼りを行いました。

吉尾峠、ぽとよしに 橋をつくる

吉尾峠には、小さな沢がいくつもあり、地域の方からぬかるみの改善や沢を横断する道に階段をつくって歩きやすくしてほしいと要望をいただきました。



1



2



3

- 1: 丸太階段施工前の様子。沢を渡る箇所はアップダウンがあり歩きにくく、草丈が高く視界も悪かった。
- 2: 丸太階段施工後の様子。両岸に丸太階段、沢には丸太と石で床固めを行い、歩きやすくなりました。
- 3: 地元中向地区のあんつあがカスガイの留め方を教えている様子。



今後、地域の方々に学びながら整備を続けていきたいと思います。

約1km先の現場に計6日間で運んだ木材はおよそ2t。沢道のため、運搬は人力でのピストン作業に限られました。「二度に担ぐ量は少く、経路地をつくって、復路で丁度良く息が整う距離を探るべし」とアドバイザーをくれたのは、またまた中向区長さん。知識量と経験値には脱帽です。

吉尾峠の2回の整備は、令和5年9月25・27・28日に、29名の参加をいただき、坂下沢を渡る箇所に丸太階段や河床路を設置しました。作業は途中で運んだ資材の運搬からはじめ、丸太階段の組み上げと沢の床固めなどを行いました。河床路は魚道を確保し、生態系にも配慮して仕上げました。

吉尾峠、沢の前後に 階段をつくる

会津銀山街道の魅力 「銀山峠の煙突」

「銀のおかげで県内初の電気は軽井沢地区に通りました。」と語るのは銀山峠を復活させる会会長。銀山峠の雷神様の祠付近から望める銀鉱山は、永禄元年（1558）軽井沢村の松本左文治によって発見されました。本格的に稼働されたのは会津3代藩主松平正容の時代で、明治29年（1896年）まで銀が採掘されていました。会津銀山街道の名称の由来ともなった繁栄の証の煙突は一見の価値あり！



ご意見・お問い合わせ

福島県会津若松建設事務所企画調査課

MAIL : wakamatsu.ken.kikaku@pref.fukushima.lg.jp
TEL : 0242-29-5455 / FAX : 0242-29-5459

福島県南会津建設事務所企画調査課

MAIL : minamiaizu.ken.kikaku@pref.fukushima.lg.jp
TEL : 0241-62-5322 / FAX : 0241-62-5274



会津銀山街道